

【 バックナンバー 】

- 2020年12月号「女性たちのたたかいはつづく」(内山佳子・柿田彩・加藤健次) / 戦後75年—戦争被害を語り継ぐ(浅井春夫・西村幸吉・杉村幸子) / [わが愛]「すべての人に星空を」(高橋真理子)
- 2021年1月号「2021年のち・暮らしを守る政治に転換を」(長尾詩子) / 「私たちは行動する—若者たちの決意(疋田万理・入福日向子・久保田亮) / 「ステイホームの日々—世界シネマ旅」(具島順子) / [わが愛]「ジェンダー平等に向けて—日本学術会議の提言から」(三成美保)
- 2・3月号「2021年国際女性デー」/国際民婦連(WIDF)創立75周年 コロナ禍のなかで各国のたたかい/労働契約法20条裁判最高裁判決(今野久子) / 持続可能な食と農をめざして(藤原麻子) / 被爆体験集(山野井恵子) / [わが愛]「女性と安全保障—チャウドリー大使の先見の明」(鷲見八重子)
- 4月号「東日本大震災・福島原発事故から10年」(阿部秋子・高野和子・青龍美和子・斎藤富春) / [わが愛]「宮本百合子没後70周年と『わきまえない女たち』」(北田幸恵)
- 5月号「性差別を許さない! 森発言からジェンダー平等を考える」(中島万紀子・久保田みき子・伍淑子・深山麻美子・宮本里英子) / [わが愛]「憲法のこころ」(斎藤とも子)
- 6月号「コロナ禍1年—支援の取り組み」(岡田はるか・坂本理美・寺園通江) / 「菅政権が進める『デジタル化』は暮らしに何をもちたらすか」(久保貴裕) / 「JAL不当解雇11年目」/『知られざる拓北農兵隊の記録』/ [わが愛]「大学のオンライン授業事情とJAL不当解雇事件」(野中郁江)
- 7・8月号「日米軍事同盟はどこへ向かおうとしているのか」(千坂純) / 「遺骨の混じった土砂を辺野古の埋め立てに使うな!」(川崎善美)・空襲被害者に救済を(河合節子)・『炎と飢えと』50集発行(橋本洋子)・「上海から引き揚げ」(鈴木泉子) / [わが愛]「コロナ禍の貧困パンデミックと公助の頼りなさ」(小林美穂子)
- 9月号「第204国会を振り返る」—「自民党改憲発議を阻止し、いのちと人間の尊厳を守る新しい政治を」(大江京子)・「高齢者窓口負担2割、病床削減推進法は医療崩壊をもたらす」(松山洋)・「小人数学級が前進!」(梶谷陽子)・「見送られたLGBT理解増進法案」(湯山薫) / 「妻・横井久美子との、ある夏の日の思い出」(友寄英隆) / [わが愛]「放送から研究の世界へ」(谷岡理香)
- 10月号「『7・25女性の権利デー』を一緒に」(山下泰子・長谷川紫乃・西村かつみ・本間啓子) / 「市民のためのなんでも相談会」@秋葉原(亀井真紀) / 市民の動きを監視する「土地利用規制法」(千坂純) / 消費税のインボイス制度とは?(湖東京至) / [わが愛]「同じコインの裏表 女性蔑視と『女性活躍』」(岩島史)
- 11月号「新型コロナウイルス 感染爆発で何が?」(岸本啓介・江浦亜希子・澤田幸子) / 東京五輪 真夏の夜の悪夢(青木正美) / 介護保険制度の劣化いっそう極まる(是枝一成) / 横浜市長選—山中竹春市長を誕生させた市民の力(菅野隆雄) / **新連載**「人権・社会正義・平和のために—弁護士として半世紀」(倉内節子) / [わが愛]「あの頃~国会議事堂が見える都立高校で」(小川たまか)
- 12月号「コロナ禍の学校と子どもたち」(田中哲・森百合子・山本乃里子・黒須勝枝・白谷元弘) / 女性技能実習生・非正規滞在者の妊娠・出産問題(樋川雅一) / 教科書攻撃の新たな段階とそのねらい(鈴木敏夫) / 米農家を直撃、米価暴落とコロナ禍(湯川喜朗) / [わが愛]「100年前、ジェンダー平等を求めた伊藤千代子」(ワタナベ・コウ)
- 2022年1月号「ジェンダー平等社会の実現を」(青龍美和子・杉井静子・坂本洋子・塚原久美) / 「日本地質学会で女性初の名誉会員に」(田崎和江) / 「同姓か別姓かだけでない、『姓』を巡る各国事情」(栗田路子) / [わが愛]「自分自身の無意識の偏見と闘いながら」(秋月弘子)
- 2・3月号「2022年国際女性デー 世界の女性は連帯する」(清末愛砂・由比ガ浜直子・浅岡美恵)・2021年世界のジェンダー平等 UNウイメン発表/連載①「国際民婦連の動向と婦団連の活動—ソ連・東欧の崩壊から現在まで」 / [わが愛]「私の研学生活—国際女性デーの歴史を追って」(伊藤セツ)